

皮膚科

著 書

- 1 杉田和成：脂漏性皮膚炎，ふけ症. 今日の治療指針2023年版, 1244, 2023, 1, 26, 医学書院, 東京.
- 2 杉田和成：酒さ様皮膚炎, 口囲皮膚炎. 今日の治療指針2023年版, 1292-1293, 2023, 1, 26, 医学書院, 東京.
- 3 杉田和成：脂漏性角化症, 老人性色素斑. 皮膚疾患 最新の治療2023-2024, 240, 2023, 1, 南江堂, 東京.
- 4 西 純平, 杉田和成：痒みの強い目の周りの皮疹を上手に治療する. Monthly Book Derma. 339, 9-16, 2023, 9, 15, 全日本病院出版会, 東京.

原著論文

- 1 Ohata C, Anezaki H, Kaneko S, Okazaki F, Ito K, Matsuzaka Y, Kikuchi S, Koike Y, Murota H, Miyagi T, Takahashi K, Sugita K, Hashimoto A, Nakahara T, Morizane S, Ohyama B, Saruwatari H, Yanase T, Yoshida Y, Yonekura K, Higashi Y, Hatano Y, Saito K, Katayama E, Yamane M, Yamazaki F, Tsuruta N, Imafuku S: Clinical characteristics of patients with psoriasis with family history: A multicenter observational study. *J Dermatol.* 2023 Jun; 50(6): 746-752, 2023, 6.
- 2 Yanase T, Tsuruta N, Yamaguchi K, Ohata C, Ohyama B, Katayama E, Sugita K, Kuwashiro M, Hashimoto A, Yonekura K, Higashi Y, Murota H, Koike Y, Matsuzaka Y, Kikuchi S, Hatano Y, Saito K, Takahashi K, Miyagi T, Kaneko S, Ota M, Harada K, Morizane S, Ikeda K, Furue M, Nakahara T, Okazaki F, Sasaki N, Okada E, Yoshida Y, Ito K, Imafuku S: Survival rates of systemic interventions for psoriasis in the Western Japan Psoriasis Registry: A multicenter retrospective study. *J Dermatol.* 2023 Jun; 50(6): 753-765, 2023, 6.
- 3 Goto H, Sugita K, Horie T, Yamamoto O: Ultrastructural and morphological analysis during progression of Bowen disease reveals a complex interplay between hyperkeratosis, cytokeratin expression, host immunity and amyloid deposition. *Eur J Dermatol.* 2023 Jun 1; 33(3): 207-217, 2023, 6.

総 説

- 1 中西健史ほか：創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン（2023）—3 糖尿病性皮膚潰瘍・壊疽診療ガイドライン（第3版）. 日皮会誌, 133(13) : 2969-3024, 2023.
- 2 杉田和成：丘疹一紅皮症（太藤）. 皮膚病診療, 45(9) : 774~777, 2023, 2023.
- 3 杉田和成：発熱を伴う皮膚疾患. 今日の臨床サポート 第4版, 2023.
- 4 杉田和成：厚硬爪甲症. 今日の疾患辞典, 2023.

症例報告

- 1 Notsu H, Goto H, Tani N, Sugita K: Eccrine Angiomatous Hamartoma Occurring on the Nail Bed. *Yonago Acta Med.* 2023 Jul 18; 66(3): 380-381, 2023, 7, 18.
- 2 Nakagawa A, Sugita K: A Light-red Nodule on the Jaw: A Quiz. *Acta Derm Venereol.* 2023 Feb 16; 103: adv00873, 2023, 2, 16.
- 3 Kamura M, Inoue T, Sugita K: Psoriasis vulgaris associated with primary biliary cholangitis: IL-23 links skin manifestations and liver function. *Eur J Dermatol.* 2023 Apr 1; 33(2): 170-172, 2023, 4, 1.

- 4 *中川 彩, *森 慎子, *織田洋子, 杉田和成: 症例 COVID-19ワクチンの皮膚副反応に対するステロイド全身投与後のウイルス抗体価の変動について. 西日本皮膚科, 85(2): 128-131, 2023, 4.
- 5 *Nakagawa A, Sugita K: A Light-red Nodule on the Jaw: A Quiz. Acta Derm Venereol, Vol.103, adv 00873, 2023, 2.
- 6 *Nakagawa A, *Nagase K, Inoue T, *Miura Y, *Fujisaki A: Upper arm bronchogenic cyst: A rare case presentation. Eur J Dermatol. 33(3): 321-322, 2023, 6.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 杉田和成: 炎症性皮膚疾患の病理. 第39回日本皮膚病理組織学会. 2023, 4, 1.
- 2 杉田和成: 乾癬の病態と皮膚病理組織像について. 第28回日本血管病理研究会. 2023, 10, 1.
- 3 西 純平, 大園亜季, 井上卓也, 杉田和成: 多彩な症状を認めた再発性多発軟骨炎. 第75回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2023, 9, 15-17.
- 4 池田宏器, 井上卓也, 米倉直美, 杉田和成: 急速に増大した頭頂部の腫瘍. 第39回日本皮膚病理組織学会. 2023, 4, 15-16.
- 5 池田宏器, 井上卓也, 杉田和成: 肛門周囲皮膚に生じin-transit 転移を伴った basosquamous carcinoma. 第39回日本皮膚悪性腫瘍学会. 2023, 8, 4-5.
- 6 浦川愛未, 杉田和成: モガムリズムマブによる薬疹の治療経過中に特異疹を生じた ATL. 第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会. 2023, 11, 18.
- 7 光吉 彩, 杉田和成: 潰瘍性大腸炎を伴ったアトピー性皮膚炎. 第87回日本皮膚科学会東京支部学術大会. 2023, 11, 19.

地方規模の学会

- 1 杉田和成: IL-13の役割とバリアと免疫をターゲットとしたアトピー性皮膚炎治療への応用. 日本皮膚科学会第237回熊本地方会. 2023, 3, 1.
- 2 杉田和成: 乾癬と脂漏性皮膚炎～IL-23の話題も含めて～. 佐賀県臨床皮膚科医会. 2023, 4, 1.
- 3 杉田和成: アトピー性皮膚炎とバリア UpToDate. 日本皮膚科学会 第480回京滋地方会. 2023, 6, 1.
- 4 杉田和成: 病態から考えるアトピー性皮膚炎の治療～2型炎症と皮膚のバリアを中心に～. 福岡県臨床皮膚科医会総会. 2023, 7, 1.
- 5 杉田和成: 成人のアトピー性皮膚炎～皮膚科医の立場からトランジションについて考えてみる～. 鳥取県臨床皮膚科医会. 2023, 8, 1.
- 6 杉田和成: アトピー性皮膚炎の最新の治療. 第141回日本皮膚科学会山陰地方会. 2023, 9, 1.
- 7 杉田和成: 乾癬の病態と分子標的治療の進歩. 日本皮膚科学会第406回福岡地方会. 2023, 9, 1.
- 8 杉田和成: 発熱と膿疱を伴う症例の診断のポイント. 第75回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2023, 9, 1.
- 9 杉田和成: 乾癬の病態と分子標的治療の進歩. 日本皮膚科学会第406回福岡地方会. 2023, 9, 1.
- 10 杉田和成: 乾癬の分子標的治療から見えてきたこと. 佐世保皮膚科医会学術講演会. 2023, 11, 1.
- 11 西 純平, 池田宏器, 井上卓也, 杉田和成: 治療後に四肢の疼痛を生じた特発性後天性全身性無汗症の1例. 日本皮膚科学会第87回佐賀地方会. 2023, 5, 21.
- 12 大園亜季, 橋本安希, 井上卓也, 石井文人, 古賀浩輔, 杉田和成: 栄養障害により非典型的な臨床

像を呈した落葉状天疱瘡. 第122回日本皮膚科学会総会. 2023, 6, 1-4.

- 13 柳瀬正平：壊疽性膿皮症患者に合併した播種性クリプトコックス感染症. 日本皮膚科学会第87回佐賀地方会. 2023, 5, 21.
- 14 *中川 彩, 森 槇子, 織田洋子：乳房 Paget 病の2例. 第87回日本皮膚科学会佐賀地方会. 2023, 5, 21.
- 15 池田宏器, 井上卓也, 西 純平, 杉田和成：当科で経験したヨードホルムガーゼによる中毒症例のまとめ. 日本皮膚科学会 第87回佐賀地方会. 2023, 5, 21.
- 16 内田大介, 井上卓也, 杉田和成：自然退縮したメトトレキサート関連 リンパ増殖性疾患. 日本皮膚科学会第406回福岡地方会. 2023, 9, 9-10.
- 17 稲吉咲穂, 井上卓也, 杉田和成：慢性光線性皮膚炎 (CAD) が先行した成人T細胞白血病 (ATL) ・リンパ腫. 第141回日本皮膚科学会山陰地方会 (現地開催). 2023, 9, 2-3.

その他の学会

- 1 杉田和成：タイトジャンクションバリアの重要性と自然リンパ球. 第23回比叡山カンファランス. 2023, 1, 1.
- 2 杉田和成：炎症性皮膚疾患の最新治療について. 佐賀県病院薬剤師会学術講演会. 2023, 12, 1.
- 3 *中川 彩, 杉田和成：COVID-19ワクチンの皮膚副反応に対するステロイド全身投与後のウイルス抗体価の変動について. 第30回佐賀県アレルギー講習会. 2023, 2, 9.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	杉田 和成	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	3型自然リンパ球の皮膚炎と皮膚バリアにおよぼす影響の解明	1,040
教授	杉田 和成	日本医療研究開発機構	令和5年度免疫アレルギー疾患実用化研究事業	2	ペリオスチン/ α V β 3インテグリン経路を標的としたアトピー性皮膚炎の新規治療薬の開発	20,000